

FINALIST

ファイナリスト

FINALIST

01



再生材プラットフォームを 活用した資源循環インフラ構築

株式会社TBM
プロジェクトリーダー 五十嵐 一樹

自治体・金融機関・産廃業者等と連携して再生材プラットフォームへの無償登録を促進し、地域の再生材需給や循環量を可視化。将来的に、エリアの再生材調達力の優位性を作り、地域の製造業が世界的に競争力を強化することに寄与する「地域インフラ」を目指す。

FINALIST

02



醤油粕燻製材から始まる 埼玉発アップサイクル× マッチングサービス

Smoke-i-freet
代表 辻 健太郎

醤油粕(年間10万トン)は塩分/水分により飼料一択のため収益化できていない。本事業は木材に変わる醤油粕燻製材で新たなアップサイクルを提供し、志を持った人を繋げることで、経済的に成り立つ循環型社会を実現することを目的とする。

FINALIST

03



ウールで創る サーキュラーエコノミーと地域活性

株式会社Spicelink
代表取締役CEO 高田 基以

ウールアパレル製品を肥料化し、県内農業と連携した循環モデルを構築。循環体験と観光資源を組み合わせたコンテンツ開発で環境問題の解決と地域活性化を目指します。

FINALIST

04



埼玉県における木製パレットの 利活用と農業用特化木炭の開発

株式会社ジェイ・シー・ティー
代表取締役 市川 忠義

木製パレットのサーキュラーデザイン化により、適切な管理やメンテナンスを行う事で長寿命化。パレットとして使用できなくなった後も木工製品や木炭製品として再利用を可能にする。また、木炭を、土中利用(農業など)する事で、脱炭素社会の実現に寄与する。

FINALIST

05



発泡ウレタン、ポリスチレン等を 200℃で分解する触媒の開発

AC Biode株式会社
代表取締役社長 久保 直嗣

従来、マテリアルリサイクルではリサイクルできない、混合、汚れた廃プラ、また発泡ウレタン、ポリスチレン、有機廃棄物を200℃、有機溶媒無し、貴金属無しにて、モノマーや水素等に解重合する触媒の開発。ケミカルリサイクルでは、半永久的にリサイクルも可能。

FINALIST

06



石膏ボード水平リサイクルによる 循環型社会の実現

株式会社GYXUS
代表取締役社長 平田 富太郎

埼玉県内で発生する石膏ボード廃棄物を水平リサイクルして、再び石膏ボード製品として利用する事業です。水平リサイクルした商品は既存石膏ボード製品と比較しても遜色なく、安心・安全にお使いいただく事ができます。

FINALIST

07



耕作放棄地よりバイオ炭を 生成する循環型社会推進プラン

ミドリクNbS株式会社
代表取締役 関 隆史

放置竹林問題解決プランです。放置竹林問題は全国的な課題と言われており、土砂災害リスクの向上、里山の生態系の破壊などの要因となります。弊社では竹林の伐採や伐採の際に生じた廃材の利活用、竹林整備活動のPRまでをワンストップで支援します。

FINALIST

08



排出事業者向け 「使用済み紙おむつリサイクル」

サステナブルクリエイト株式会社
代表取締役社長 大嶋 武

これまでの「埋める・燃やす」から「使う・活かす」をキーワードに、社会課題への解決に向けた新たな事業サービスでもある「使用済み紙おむつの100%リサイクル」をテーマに、サーキュラーエコノミーの実現と共に脱炭素社会への貢献を致します。